

モメンタムランク

41

基本情報:

- 人口 3,739 万人
- 都内総生産 (GMP) : 2.01 兆ドル (2022 年)
- 雇用別上位業種:
 - 1) 卸売・小売
 - 2) 情報・通信
 - 3) 医療・健康・福祉

特筆すべき強み

東京は、新型コロナウイルス流行以前から経済成長や人口増加が国家レベルで鈍化してはいたものの、現在でも世界有数の大都市であり、世界経済を牽引する存在となっています。過去 10 年間、東京を中心とする首都圏は緩やかに成長を続けており、3,700 万人以上の人口を擁し、年間 GDP で 2 兆ドル以上を生み出しています。このことから、東京が現在も世界で最も人口が多く、かつ経済的にも世界最大の都市 (GDP ベース) であることに変わりはなく、WE 指数でも市場規模カテゴリーでは 1 位にランクされています。さらに世界トップレベルの大学数が最も多く、また男女ともに高等教育修了率が最も高いグローバル都市である東京に拠点を持つ企業は、最大規模の高学歴人材にアクセスできる環境にあります。高学歴の女性就業者数も同様に高い水準です。

一般的に、東京 (および日本全体) は大企業が多く存在することで知られていますが、起業家やスタートアップを輩出する面ではそれほど知られていません。しかし東京は、他のグローバル都市に劣らぬレベルで強力なスタートアップエコシステムを育成する取り組みを行ってきました。2019 年には、スタートアップ支援出資額が 48 億ドルまでに急増したことに伴い¹、Startup Genome による 2020 年グローバルスタートアップエコシステムレポートでは、シンガポールやソウル、香港をはじめとする多くのアジアの大都市を抑えて 15 位にランクインしました。急成長する東京の資本やスタートアップ環境は、歴史的に見ても女性起業家の不足を打破するには至っていませんが、女性のリーダーシップや起業家精神を支援・奨励する取り組みを行っていることは明白です。政府レベルでは、都庁による女性の活躍を推進するプログラムが現在第 7 期目に入っており、女性起業家向け専門のメンターシップ提供やグローバル展開支援の取り組みを進めています。

¹ INITIAL (<https://initial.inc/articles/japan-startup-funding-2020-en>)による調べ



	総合順位	45 位
経営環境	45 位	
市場	45 位	
規模	1 位	
コスト	39 位	
アクセス	55 位	
政策	45 位	
人材	41 位	
女性のスキル・経験	51 位	
有能な人材の確保	13 位	
資本	42 位	
数値・価値	13 位	
男女比率	54 位	
女性の資本力	3 位	
環境面でのイネーブルメント	45 位	
文化	41 位	
メンター/ロールモデルへのアクセス	52 位	
姿勢・期待	17 位	
政策	43 位	
技術	44 位	
コネクティビティ	33 位	
コスト	4 位	
政策	46 位	
平等性	54 位	

改善すべき分野

東京は、歴史的に企業の経営層（取締役会など）、またはスタートアップ環境における女性が占める割合が低い傾向にあります。東京のスタートアップや事業者のエコシステム、およびそれらを拡張するパイプラインには多くの問題が存在し、それにより女性が高いポテンシャルを持つ起業家として事業を起こし、経験豊富な経営幹部に至るまでの支援や奨励が欠如しています。東京は、他の主要都市と歩調を合わせ、同一賃金、機会均等のほか、有給産休や育児休暇などの政策を進めています。競争力のある WE 都市指数において、これらの政策は急速にテーブルステークス（必要最低限の要件）になりつつあります。

エコシステムの別の領域では、東京には世界有数の一流大学があり、大学教育を受けた女性も大勢いますが、一流大学への女性の入学率は平均を大きく下回っています。このことから、女性とそのキャリア志向に対する日本人の見方を文化面から変えるべきであると指摘する記事も見受けられます²。

女性起業家に対する資本支援の面では、東京は女性の起業を奨励するだけでなく、特に女性が経営する企業に対する資本支援を大幅に強化する必要があります。また起業家育成の観点からは、女性の経営幹部経験者の比率が男性に比べて低いことが、メンターシップやロールモデルへのアクセスの欠如（52 位）にも表れており、女性が起業家や将来のビジネスリーダーになることを支援する上で求められるもう 1 つの重要な要素となっています。

東京は、資本と市場における相対的な強みを活かして、女性の役割を高めることにより、女性が大きな目標に向かって夢や希望を抱くことのできる好循環を支える文化を育む必要があります。そこから得られる多くのロールモデルやメンターシップには、社会全体の姿勢や期待を変える効果も期待できるでしょう。

これまでに述べた改善すべき項目は、女性のためのスタートアップおよびビジネスリーダーのエコシステムに沿ったさまざまな要素を反映していますが、これらの項目はそれぞれ密接に関連しています。東京は、これらすべての改善に向けた努力を続け、かつ強化することが望まれます。そうすれば東京はひとつの都市として滑走路を進み、離陸して軌道に乗ることができるようでしょう。2017 年以降、東京の WE 指数には勢いがなく、最下位付近で低迷しています。高齢化が進むなか、女性の起業こそが東京の市場をトップランクに保ち、持続可能な成長への道筋を開くのです。

² 2019 年のニューヨークタイムズの記事「日本のトップランクの大学における女子学生の割合は 1/5 に過ぎない」を参照。